

2024年度 「正会員に対する活動助成」活動報告書

(ふりがな) 団体名	公益社団法人 大分県社会福祉士会
---------------	------------------

■活動報告の詳細

活動名称	ソーシャルワーカーの啓発及び人材確保のためのパンフレット等の作成（ソーシャルワーカー三団体統合の素地づくり含む）
活動の目的	公益社団法人 大分県社会福祉士会では、2024 年度においてソーシャルワーカーの啓発を目的に一般社団法人大分県医療ソーシャルワーカー協会と大分県精神福祉士協会と団体間協議を重ねて、三団体の協働で将来のソーシャルワーカーを目指す若年層（中・高校生）をターゲットにソーシャルワーカーの啓発及び人材確保のためのパンフレット作製したところです。組織率の向上は、短期的に社会福祉士養成校後の合格者だけをターゲットするのではなく、その前の段階からアプローチをしていくことが肝心だという趣旨です。 そこで、2024 年度においても、同様のパンフレットの続編を作製したいが、その原資が不十分であることから本助成の申請に至っております。 また、本会ホームページ上でも特設サイトを構築してソーシャルワーカーの魅力の発信も行いたい。 なお、今回のパンフレット作製は、ソーシャルワーカーの啓発及び人材確保の観点以外にも三団体統合にむけての素地をつくり相互理解を促進させ団体間の信頼関係を構築する上でも重要な事業を位置づけております。
実施した活動の内容 会議・研修会・イベント等の開催日時、場所、参加者数等の活動内容の詳細を記入 ※別添（様式自由）にて提出可	①編集委員会を組織化してソーシャルワーカーの啓発及び人材育成を目的とした小冊子の作成。 ・編集委員会の開催 - 第1回：2024 年 9 月 10 日（火）19：00～20：05 Zoom - 第2回：2024 年 11 月 19 日（火）19：00～19：40 Zoom - 第3回：2024 年 12 月 20 日（金）19：00～19：30 Zoom - 校了：12 月末 - 納品：1 月中旬 - 関係機関への発送：2 月 4 日他 ②本会の活動及び入会を促進するためのパンフレットの作成。 ・本会の活動及び入会を促進させるためのパンフレット（500 部） - 三役内で随時メーリングリストにて協議：1 月中 - 校了：2 月上旬 - 納品：2 月下旬

ソーシャル ワーカーって どんな人？



すべての人を思い・考え・ともに歩んでいく

人と社会の役に立ちたいと思う

よりよい社会のために社会の仕組みや制度を変えていく

私たち人は、生まれてから死ぬまでの生活において、さまざまな困難に向き合わなければならない時がくる。そして個人の努力だけでは乗り越えられない困難もあるかもしれない。そのようなとき、その人に寄り添い、ともに困難を乗り越え、そっと背中を押してあげられるような人になりたい。



ソーシャルワーク (SOCIAL WORK)

社会は私たちソーシャルワーカーを必要としている

ソーシャルワークとは、人々と環境とその相互作用する接点に働きかけ、すべての人々の健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を実現し、**ウェルビーイング**（幸福）の状態を高めることを目指していくことです。

近年、福祉ニーズの変化等に伴い、ソーシャルワーカーの活躍の場は、高齢者支援、障がい者支援、子ども・子育て支援、生活困窮者支援といった分野のみならず、教育や司法などの様々な分野に広がってきています。今まさにソーシャルワーク専門職が行うソーシャルワークに対する期待は大きくなっています。

日本におけるソーシャルワークは、独自の文化や制度に欧米から学んだソーシャルワークを融合させて発展してきました。現在の日本の社会は、高度な科学技術を有し、めざましい経済発展を遂げた一方で、世界に先駆けて少子高齢社会を経験し、個人・家族から政治・経済にいたる多様な課題に向き合っています。また日本に暮らす人々は、伝統的に自然環境との調和を志向してきましたが、多発する自然災害や環境破壊へのさらなる対応が求められています。

「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義の日本における展開」（2017年6月）

ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である。社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす。ソーシャルワークの理論、社会学科、人文学、および地域・民族固有の知を基礎として、ソーシャルワークは、生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、人々やさまざまな構造に働きかける。

「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」（2014年7月）

別府リハビリテーション
センター

矢坂 侑貴 さん



① 仕事内容

当センターは回復期リハビリテーション病棟であり、主に脳梗塞等の頭の病気や骨折等をした患者さんがリハビリをする専門の病院です。

ソーシャルワーカーは、患者・家族を中心に、医師、看護師、介護福祉士やリハビリ専門職等と一緒にチームの一員として支援しています。患者さんやご家族が希望する生活を安心して送られるように相談対応等支援しています。

② 今の仕事を選んだきっかけ

大学で社会福祉士という資格を知りました。患者さんだけでなく、家族等の患者さんを取りまく環境にも働きかけていく医療ソーシャルワーカーに興味を持ったことがきっかけです。

③ やりがい、大切にしていること

大切にしていることは、患者さんやご家族の思いや希望をなるべく正確に汲むことを意識しています。

また、たくさんの職種や関係機関と関わるため、相手の立場を理解しようとする姿勢も大切にしていきたいと思っています。

④ 今後の目標や夢

働き始めて6年目になり、仕事に慣れてきた面はあるものの、まだまだ知らないことやわからないことが多いため、学び続けていきたいです。また、患者さんやご家族、関わる方々に対して、誠実さを持ち続けることのできるソーシャルワーカーになりたいと思います。

⑤ メッセージ

医療ソーシャルワーカーはどんな経験も活かせる職業だと思います。自分がしてきた経験が、会話のきっかけになることもあれば、支援の中で患者さんの生活そのもの

に変化をもたらすこともあるかもしれません。同じ経験をしても感じ方は人それぞれなので、経験がなくても、この人はこういう経験をしたんだな、こう感じるんだな、と寄り添う意識が一步目になると考えます。興味がある方はぜひ調べてみてください。



矢坂さんの仕事のある1日の流れ

- 8:20 業務開始・記録の確認
- 8:30 病棟で申し送り
- 8:35 地域連携室申し送り
- 9:10 カンファレンス
- 10:00 退院調整会議
- 10:30 電話連絡
- 11:00 入院時面接、カンファレンス
- 12:20 休憩
- 13:20 リハビリ見学同席
- 14:30 主治医の病状説明に同席
- 15:30 自宅訪問同行
- 17:00 帰院・記録
- 17:20 業務終了



別府大学

今尾 顕太郎 さん



① 仕事内容

私の仕事は、ソーシャルワーカーを目指す学生たちに、必要な知識とスキルを教え、実践的な指導を通して将来の支援者としての基盤を築いてもらうことです。講義や演習を通して理論や技術を教えるだけでなく、学生一人ひとりと向き合い、社会福祉に対する姿勢や考え方の成長もサポートしています。また、研究活動を通じて、福祉の現場に新しい知見を提供し、ソーシャルワークの発展に貢献することも私の大切な役割です。

② 今の仕事を選んだきっかけ

現場での実務経験を積む中で、ソーシャルワークの仕事の意義を深く実感しました。そして、次世代の支援者たちを育てることで、広く社会に貢献したいと考えようになり、大学教員の道を志しました。学生時代の恩師が社会福祉の本質を教えてくれたように、私も学生にとっての「指針」となれる存在でありたいと願っています。

③ やりがい、大切にしていること

この仕事のやりがいは、何よりも学生たちが学び、成長していく姿を見ることです。授業で新しい概念を理解したり、実習で実際の現場に触れることで、彼らの視野が広がり、支援者としての意識が深まっていく瞬間に立ち会えることは、私にとって大きな喜びです。また、学生と一緒に課題に取り組む際には、彼らの考え方を尊重し、自主的な学びを促すことを大切にしています。

④ 今後の目標や夢

今後の目標は、より多くの学生が実際の現場で活躍できるよう、実践的な教育をさらに充実させることです。特に、AIやICT技術を活用した面接訓練システムの開発にも注力し、学生が現場で求められるスキルを効率的に習得できるような教育環境を整備していきたいと考えています。また、学生や卒業生がソーシャルワーカーとして

成長し続けられるようなネットワークを構築し、支援の輪を広げていくことが私の夢です。

⑤ メッセージ

福祉の現場で必要とされる知識と技術を学び、人々の生活を支える一助となるソーシャルワーカーの道は、やりがいと充実感に満ちたものです。困難な時もありますが、それを乗り越えた先に多くの人とのつながりや感動が待っています。皆さんが一步踏み出すことを心から応援しています。未来の仲間として、ともに社会に貢献できることを楽しみにしています。



今尾さんの仕事のある1日の流れ

- 7:30 出勤、当日の講義準備、事務処理
- 9:00 会議
- 10:40 ソーシャルワーク実習指導
- 12:10 昼休み、午後の講義の準備
- 13:00 社会福祉の原理と政策
- 14:40 ソーシャルワーク演習Ⅴ
- 16:20 社会保障Ⅱ
- 17:50 提出物の確認、採点、卒論指導の準備
- 18:30 退勤



株式会社CFC
ワークプレイスbホープ

國松 裕香 さん



① 仕事内容

就労継続支援B型事業所は、心や身体の障害により一般企業で働くことが難しい人に対して、就労や生産活動の機会を提供する場所です。利用者さん一人ひとりに対してどのような支援が必要か見極めて、困りごとを共有したり、自立や社会参加を促すような関りをもったりしています。私の職場では、内職・スキルアップを目的とした教室の開催・クッキーづくり・保護猫のお世話などを行っています。



② 今の仕事を選んだきっかけ

高校生時代に親の仕事関係で知った“ソーシャルワーカー”に興味を持ち、ボランティア経験をしました。大学では福祉を学び、資格を取り、その後は病院の相談員として働いてきました。次第に退院した後の患者さんの生活や病気を抱える方の就労をサポートしたいと思い、今の仕事に就いています。

③ やりがい、大切にしていること

利用者さんが作業を頑張っていたり、目標に向かって自立していく姿を見ると嬉しくなります。普段から『困った

ときに相談しやすいような関係作り』や『いきいきと働けるような作業所の雰囲気づくり』を大事にしています。

④ 今後の目標や夢

まだまだ知識や経験が浅く、未熟なところも多々ありますが、利用者さん1人1人と向き合って信頼されるソーシャルワーカーになりたいです。

⑤ メッセージ

福祉の仕事は人の人生に深く関わる仕事です。責任があり大変なことも多いですが、その分やりがいを感じる瞬間がたくさんあります。皆さんと一緒に仕事をする日を楽しみにしています。

國松さんの仕事のある1日の流れ

- 8:00 ● 出勤
- 8:15 ● 利用者送迎
- 9:30 ● 朝のミーティング
- 9:50 ● 外出(納品)
- 12:00 ● 昼休憩
- 12:50 ● 内職作業の指示・検品、記録など
- 14:00 ● 利用者面談
- 15:00 ● 帰りのミーティング
- 15:15 ● 翌日の準備、記録の確認、Instagram投稿・minne(ネットショップ)確認など
- 16:30 ● ネコのお世話
- 17:00 ● 退勤



医療法人 明和会
佐藤病院

濱田 航介 さん



① 仕事内容



精神科病院の相談員として、外来受診や入院に関する相談を受けたり、退院先の調整を行ったりする相談業務を中心にを行っています。障害年金や生活保護といった制度についての相談もあるため、手続きのお手伝いや、書類の作成なども行っています。

② 今の仕事を選んだきっかけ

大学卒業後は医療も福祉も全く関係ない一般企業に勤めていました。職場の同僚が精神的に病んでしまい、そのことを知り合いのソーシャルワーカーに相談したことをきっかけに興味を持つようになりました。心の病気や障害というものが自分の思っていた以上に身近なものであるということに気付き、困っている人の力になれるような仕事をしてみたいという思いから、専門学校に入学しました。

③ やりがい、大切にしていること

「話してみですっきりしました」「いろいろ聞いてくれてありがとう」と言ってもらえたり、自分がかかわった人の生活が少しでも良い方向に向かった時にやりがいを感じます。どのように支援すればいいか見当もつかないくらい困難なケースもありますが、いろいろな人の力を借りながら、問題を解決したり状況を改善できた時には「やってよかった!」と達成感を感じることができます。

そのために、人とのつながりや関係性を大切にしています。ソーシャルワーカーは一人で出来ることは限られているため、患者様とはもちろん、支援の輪に入ってくれる人たちとの関係性を大切にすることが、より良い支援につながると考えています。

④ 今後の目標や夢

ソーシャルワーカーとしての経験がまだまだ浅い為、病気についての知識や福祉の制度だけでなく、身の周りの社会資源についても知識をつけていきたいです。いろいろな人とのつながりを増やしながら、「頼りになる!」と言ってもらえるソーシャルワーカーになりたいと思っています。

⑤ メッセージ

ソーシャルワーカーとしての関わりを通して、その人の生い立ちや人となりを知ることが出来るのは、この仕事の大きな魅力だと思います。

また、支援を考えていく中で様々な人とつながることは自分の人生も豊かにしてくれます。少しでも興味を持ってもらえると嬉しいです。



濱田さんの仕事のある1日の流れ

- 8:30 ● 出勤
- 9:00 ● 電話相談対応
- 9:30 ● 書類作成
- 10:30 ● 面談
- 12:00 ● 休憩
- 13:00 ● 入院対応
- 15:00 ● 電話相談対応
- 16:00 ● 相談内容の記録、書類作成
- 17:00 ● 退勤



大分市役所
大分市福祉事務所
子育て支援課

堀 理子 さん



① 仕事内容

大分市では、4人の社会福祉士がひとり親家庭を対象とした相談対応をする自立支援員として、子育て支援課に勤務しています。離婚前相談に始まり、離婚後のひとり親支援制度の申請や、就労に繋がる支援、ひとり親家庭のお子さんの進学支援としての福祉資金の貸付業務等を行っています。



困りごとを抱えたひとり親の方に寄り添い、自立に向けての支援全般を担う専門職です。

② 今の仕事を選んだきっかけ

精神や発達障がいに関わる中で、子どもの発達障がい支援の充実には、まず親御さんの支援が大切な事に気づき、行政の中で直接支援に繋げる役割を担える自立支援員として、自分のスキルを活かしたいと考えました。

③ やりがい、大切にしていること

悩みを抱えながら窓口に相談に来てくれたひとり親の方々の気持ちに寄り添うことをまずは大切にしています。

悩みをお聞きするうちに、その人の本来の力や本当の気持ちに近づけたとき、何かしらの形に支援が動いた時、暗かった相談者の表情が明るく変わった時、やっていて良かったとその都度こちらも元気を頂いています。

④ 今後の目標や夢

ひとり親家庭が置き去りにされない支援の輪を今以上に広げて行くことです。

日々の仕事だけでなく、常に新しい情報を取り入れる

努力をし、周りと協働しながら誰もが住みやすいまちづくりに関わり続けたいと思っています。

⑤ メッセージ

ソーシャルワーカーは、人と人を繋ぐスペシャリストです。対人支援は難しさもありますが、色々な人と関わることで、多種多様な生き方を知ることが出来て、多くの経験を得ることもできます。そのスキルを活かして相談者の未来に関わる希望の種を見つける大切な役割をソーシャルワーカーは担っています。



人を笑顔にできる素敵な仕事でもあります。人の痛みに寄り添い、支えることで私たち自身の心も成長していく。そんな素敵なソーシャルワーカーが沢山生まれることを願っています。

堀さんの仕事のある1日の流れ

- 8:30 ● 出勤・朝礼
- 9:00 ● 前日の職務日誌の確認、窓口相談対応
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 窓口相談対応、貸付業務、事務作業、電話での相談対応
- 16:30 ● 本日の対応記録作成
- 17:15 ● 退勤



地域貢献活動として
こんな活動もしています



mamma project



まちでらづくり

竹田市社会福祉協議会

高野 初輝 さん



1 仕事内容

竹田市社会福祉協議会（以下、社協）は、住民一人ひとりの暮らし、生きがい、地域を共に創っていく社会を目指しています。具体的には、地域住民による支え合い活動や居場所づくり等への支援（地域づくり活動）、高齢者や困窮等の生活課題への支援（様々な相談への対応）、その他、デイサービス等の介護保険事業や、保育所の運営等、幅広く活動しています。



2 今の仕事を選んだきっかけ

社協では、住民一人ひとりはもちろん、自治会、福祉事業所、病院、行政等の関係機関だけでなく、時には商店や企業等とも繋がりを持ちながら地域福祉を展開します。机に座りっぱなしではなく、いつも地域に向いて、様々な人、場所を訪れるため、数々の素敵な出会いがあります。

学生時代の現場実習でこれを知り、社協で働きたいと思いました。

3 やりがい、大切にしていること

例えば相談支援を通じ、お金がない、住環境が良くない等、苦しみの中で生活している方に寄り添い、地域、医療、福祉等との繋がりをつくりながら、尊厳のある生活が回復した時などは、何より喜びを感じます。

その為にも、どのような相談でも断ることなく、快く受け止め、まずはじっくりとその思いを受け止める、ということを大切にしています。

4 今後の目標や夢

社協では、「災害ボランティアセンター」の運営訓練

を定期的に行っています。被災した家の片付け等に助を求めている方と、そのお手伝いを希望するボランティアさんとのマッチングが主な役割です。地震や豪雨等、いつでもどこでも災害が起こる今、これから益々必要性の高い重要な役割だと思っています。

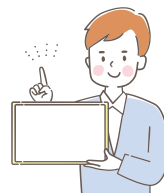
5 メッセージ

大分県には、災害派遣福祉チーム「大分DWAT（でいーわっと）」があります。大規模災害発生時、一般避難所における高齢者、障がい者等の要配慮者のサポートを行う福祉の専門職チームです。県内の福祉施設等約50法人、約300人が登録しており、万が一に備えた支援体制の構築が進められています。社協の活動とあわせて、ぜひお見知りおきください。



高野さんの仕事のある1日の流れ

- 8:30 ● 出勤、ミーティング
- 9:00 ● 連絡調整（電話、訪問）
- 10:30 ● 相談支援（来所、訪問）
- 12:15 ● お昼休み
- 13:00 ● ケースカンファ／地域連携の為の会議
- 15:00 ● 相談支援（来所、訪問）
- 16:00 ● 記録、支援方針の検討
- 17:00 ● 退勤



中津市教育委員会

江藤 あゆみ さん



① 仕事内容

学校や児童生徒、ご家族、関係機関等からの相談を受け、面談や家庭訪問を行いながら一緒に困りごとの解決にあたるほか、福祉サービスの相談窓口や医療機関などの専門機関につなぎ、児童生徒のみなさんが安心して過ごすことができるようチームの一員として支える仕事です。

② 今の仕事を選んだきっかけ

以前、地域包括支援センターの社会福祉士として勤務していました。その中で、相談支援や地域のネットワーク構築に取り組むことにやりがいを感じ、高齢者の分野だけでなく、他分野での相談支援もやってみたい！と興味を持ったことがきっかけです。

③ やりがい、大切にしていること

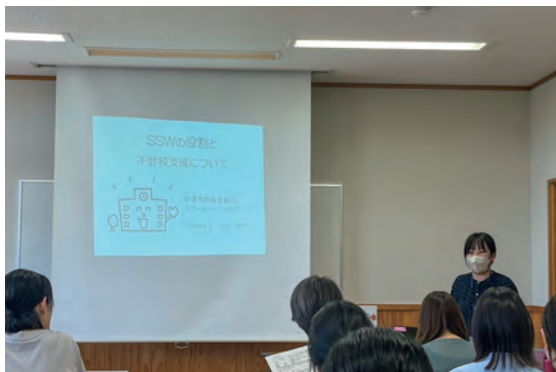
不登校支援など、すぐに解決につながりにくいケースや、ヤングケアラー支援では関わりが持てるようになるまでに時間を要するケースもありますが、関わりを継続していくことで「今まで関わりが持てなかった保護者につながる事ができた」、「週1日登校できるようになった」、「家庭の状況が安定し、子どもたちも学校で安定してきている」など、少しずつでも良い方向に向かっていくことが共有できた時にやりがいを感じます。1人ではなく、学校やご家族、関係機関と連携しながら支援することを心がけています。

④ 今後の目標や夢

どの分野に所属していても、その分野だけでは十分な支援が行えないことが多いと感じるので、他機関・多職種の方たちとのつながりを大切にしながら、自分自身も自己研鑽していきたいです。

⑤ メッセージ

私は進路選択する時に「ソーシャルワーカーになりたい！」と決めていたわけではありませんでした。でも、たくさんの人たちと関わる中で「相談して良かった」と言ってもらえたり、笑顔を見せてくれたりすることも多く、今はソーシャルワーカーを選んで良かったと思っています。これを読んで、少しでもソーシャルワーカーに興味を持つ方たちが増えたら嬉しいです。



江藤さんの仕事のある1日の流れ

- 9:00 ● 出勤／連絡調整、情報共有等
- 10:00 ● 重点配置校訪問／先生方との情報共有、児童との面談、授業観察 等
- 12:30 ● 給食
- 13:00 ● 児童との面談、授業観察、ケース会議、サポート会議 等
- 17:00 ● 退勤
(市教委に戻り連絡調整、記録作成 等)



大分県立二豊学園
橋本 佳喜 さん



① 仕事内容

大分県内で唯一の児童自立支援施設「二豊学園」にて、児童自立支援専門員として、日々子ども達と起居を共にしながら、自立に向けて支援を行っています。現在私は男子寮寮長と野球部スタッフとして、主に男子児童の支援にあたっています。日頃の生活を共にし、退園後の生活を見据え、子ども一人一人と向き合いながら、児童相談所や関係機関、保護者などと連携しながら支援を行っています。



② 今の仕事を選んだきっかけ

大学を出た後、資格取得のため専門学校に通っていましたが、その時に縁があって一時保護所で夜間の舎監補助をさせていただくことになりました。その時出会った子ども達が、「先生、俺二豊に行くことになった」と言ってくることが続き、その時初めて二豊学園を知りました。その年に保護所の職員の方から二豊学園の試験があるという話を聞き、退所した子ども達がどうなっているのかを見たいという好奇心もあり働いてみたいと思いました。

③ やりがい、大切にしていること

様々な課題を抱えた子ども達を迎え、その子ども達と向き合いながら、時には悩むことも多くありますが、それでも少しずつ成長する姿を見ると、やってよかったなと思います。日々子ども達と関わる中で大切にしていることは、「日頃を大切にし、当たり前を当たり前」と

いうことです。毎日の生活の安定を図り、当たり前前三食食べて、当たり前前に学校に行き、当たり前前に勉強して、当たり前前に怒られて、当たり前前に褒められ認められる、経験を当たり前前に積むことです。

④ 今後の目標や夢

1人でも多くの子ども達が生きやすい環境を整えてあげることです。二豊学園に来た子ども達が「ここに来てよかった」と思ってもらえるように、日々子ども達のために、愛情と情熱を持って支援を続けていくことです。

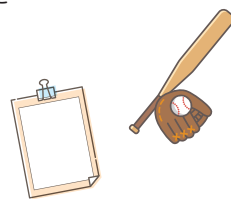
⑤ メッセージ

子どもの可能性は無限大。その可能性を引き出し、子ども達が笑顔で幸せに過ごせるような支援と一緒にしませんか？きつく苦しいこともあります、その分喜びや楽しみは大きいです。



橋本さんの仕事のある1日の流れ

- 13:15 ● 出勤、引き継ぎなど
- 15:30 ● 部活動（野球部）
- 18:15 ● 夕食
- 19:00 ● 学習指導
- 20:00 ● 夜のまとめの会
- 20:10 ● 個別面接（寮内児童とその日の振り返り）
- 21:00 ● 記録整理や職員間の振り返り
- 22:00 ● 勤務終了



『ソーシャルワーカーってどんな人?』 かんたん用語集

地域 連携室

病院に入院している患者や家族が入院中や退院し自宅に帰ったり転院する場合に、スムーズに生活が送れるように相談できる所で、そこにソーシャルワーカーが働いています。

退院 調整会議

病院を退院や転院する前に行う会議で、医師や看護師、ソーシャルワーカーや今までチームとなって支えていたメンバーで退院がいつごろできるか、次の支援のあり方などを考える会議です。

回復期リハビリ テーション病棟

病気やケガで治療が終わった後に、じっくりとリハビリをすることを目的とした病院等です。

就労継続支援 B型事業所

何らかの障がいを持っている方が働く1つの事業所です。一般的な企業には就職は無理でも、ご本人に障がいの程度に合わせて簡単な軽作業等を行って工賃を頂けるところです。大分県では約250か所あります。ちなみに1カ月の平均工賃は月に約2万円です。

障害年金

障がい者が20歳以上になったら、障がいを理由に自ら働くことが難しい場合に、申請により年金が支給されます。障害基礎年金には1級と2級の区分があり、1級は年間で約100万円、2級は年間で約82万となっています(個別に金額は違います)。

生活保護

日本に住んでいる方で生活に困ってどうもならない場合に、申請によって生活をまもる制度です。日本における最後のセーフティネット(最後のとりで)と言われています。個々の世帯ごとに支援する内容や給付する金額は変わります。

社会福祉 協議会

大分では、大分県社会福祉協議会と各市町村に社会福祉協議会が1カ所あります。主に地域の中にある生活課題を住民の方や行政と協力しながら一緒になって解決する活動を行う団体です。

大分 DWAT

大規模災害時に、避難所等で、高齢者や障がい者等の特に配慮を要する方に対して、福祉・介護の困りをひろって、その場で支援等を行う、福祉支援の専門チームです。福祉専門職(社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員等)の5名程度が1チームとなって活動を行います。大分県では、平成30年12月に発足しました。

重点 配置校

教育委員会等がスクールソーシャルワーカーにあらかじめ、サポートして欲しい学校を決めてそこで勤務する小中高等学校です。各市町村によって、サポートする小中高等学校や勤務のスタイルは違います。

ソーシャルワークとはみんなが**幸せ**に
楽しく生きることができるように**社会**に向き合い、
困難な状況にある人に寄り添う仕事です。

発行

大分県社会福祉士会

〒870-0907 大分県大分市大津町2丁目1番41号
大分県総合社会福祉会館2F
TEL : 097-576-7071 FAX : 097-576-7071

公式HP



大分県医療ソーシャルワーカー協会

〒879-2401 大分県津久見市千怒6011番地
(津久見市医師会立津久見中央病院内)
TEL : 0972-82-1123 FAX : 0972-82-8411

公式HP



大分県精神保健福祉士協会

〒870-1111 大分市上判田3433番地
(衛藤病院内)
TEL : 097-597-0093 FAX : 097-597-6231

公式HP



ソーシャルワーカー

とはどんな人？



すべての人を思い・考え・ともに歩んでいく

人と社会の役に立ちたいと思う

よりよい社会のために社会の仕組みや制度を変えていく

私たち人は、生まれてから死ぬまでの生活において、さまざまな困難に向き合わなければならない時がくる。そして個人の努力だけでは乗り越えられない困難もあるかもしれない。そのようなとき、その人に寄り添い、ともに困難を乗り越え、そっと背中を押してあげられるような人になりたい。



ソーシャルワーク (SOCIAL WORK)

社会は私たちソーシャルワーカーを必要としている

ソーシャルワークとは、人々と環境とその相互作用する接点に働きかけ、すべての人々の健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を実現し、**ウェルビーイング**（幸福）の状態を高めることを目指していくことです。

近年、福祉ニーズの変化等に伴い、ソーシャルワーカーの活躍の場は、高齢者支援、障がい者支援、子ども・子育て支援、生活困窮者支援といった分野のみならず、教育や司法などの様々な分野に広がってきています。今まさにソーシャルワーク専門職が行うソーシャルワークに対する期待は大きくなっています。

日本におけるソーシャルワークは、独自の文化や制度に欧米から学んだソーシャルワークを融合させて発展してきました。現在の日本の社会は、高度な科学技術を有し、めざましい経済発展を遂げた一方で、世界に先駆けて少子高齢社会を経験し、個人・家族から政治・経済にいたる多様な課題に向き合っています。また日本に暮らす人々は、伝統的に自然環境との調和を志向してきましたが、多発する自然災害や環境破壊へのさらなる対応が求められています。

「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義の日本における展開」（2017年6月）

ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である。社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす。ソーシャルワークの理論、社会学科、人文学、および地域・民族固有の知を基礎として、ソーシャルワークは、生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、人々やさまざまな構造に働きかける。

「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」（2014年7月）

曽根病院 患者支援室
吉岡 あゆみ さん



① 仕事内容

診察に来られた患者様・ご家族の悩み事や困りごとの相談支援をしています。私が勤める病院は、高齢の方の入院がほとんどなので、住み慣れた家へ帰りたけれど不安がある方に寄り添い、ご本人らしい生活に繋がられるよう日々取り組んでいます。

② 今の仕事を選んだきっかけ

私が中学生の頃、認知症を患った曾祖母に接したことがきっかけです。当初は「なんでひいばあちゃん、ボケるんやろ？」という『興味』だけでした。また、その当時は支える人の大変さや本人の気持ちの変化など何も知りませんでした。

③ やりがい、大切にしていること

大切にしている言葉があります。『逃げちゃダメだ』。あるアニメで14歳の少年が困難に直面した時に、自分を奮い立たせた時の言葉です。私は常にそんな強い意思を持ってない人間なのでたまに逃げますが、逃げずに向き合うことで一つでも何か得られることがあればいいなと思っています。

④ 今後の目標や夢

あの人に相談してみたらいいよ！と言っただけで、地域の方が病気じゃなくても気軽に立ち寄ってくださるような、そんな医療ソーシャルワーカーを目指したいです。

⑤ メッセージ

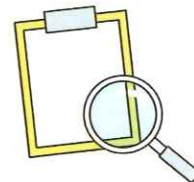
手にとってくださった方、ありがとうございます！将来のこと、進路のこと、たくさん悩まれる時期だと思います。今の段階で色んなことを決めるなんて、難しいですよ。実は皆さんにも既にできていることがあるかもしれません。身近な人の悩み事に対して一緒に悩み、一緒に解決方法を探すこと、それはこの仕事の役割に似

ているのではないかと思います。これをきっかけにこういう仕事もあるんだと知っていただくと嬉しいです。いつの日か、皆さんと一緒にお仕事できることを楽しみにしています！



吉岡さんの仕事のある1日の流れ

- 8:30 ● 病棟内の申し送り参加・面談予定の確認
- 8:45 ● 担当患者様のところへ朝の挨拶、様子伺い
- 9:15 ● 病棟内カンファレンス
- 10:00 ● ケアマネージャーさんと退院前カンファレンス
- 10:45 ● ご家族と面談・介護保険制度の説明
- 11:00 ● 新規入院患者様とご家族様へ挨拶・入院の説明
- 11:30 ● 食事の様子観察・リハビリからの評価聞き取り
- 12:30 ● 休憩
- 13:30 ● 家屋調査・外出同行
- 15:00 ● 帰院 施設相談員さんと状態確認の日程調整など
- 15:20 ● 外来患者様からの相談対応
- 16:00 ● 行政へ問い合わせ・相談
- 16:30 ● 入院患者様と個別面談
- 17:00 ● アセスメントなど書類作成
- 17:30 ● 業務終了



衛藤病院 福祉課

吉田 涼 さん



① 仕事内容

精神科病院の相談員として、通院している方の相談や入院している患者さんがスムーズに退院できるよう支援しています。また、患者さんやそのご家族の困りごとを聞いて、何か利用できるサービスは無いかなどの相談を受けています。

② 今の仕事を選んだきっかけ

高校時代に障がい者施設の利用者さんを高校の文化祭に招待するというイベントがあり、その時に利用者さんと一緒に過ごしたことが最初に興味を持ったきっかけです。ただ、高校生の頃は社会福祉士や精神保健福祉士という資格については全く知らず、大学も福祉系ではない学部を選びました。大学卒業後、ホテルの予約課で働いていましたが、その時に障がい者施設の利用者さん達がホテルを利用してくれたことがあり、その際の事前打ち合わせで精神保健福祉士である施設の職員さんと出会いました。利用者さんのことを1番に考えながら話をしている姿が印象的で、そのことがきっかけで精神保健福祉士になりたいと思うようになり、退職後、専門学校に入学しました。

③ やりがい、大切にしていること

「話を聞いてくれて楽になった、ありがとう」と言ってもらえた時や、症状が安定しない、家族の協力が得られないなどの問題を抱え退院が難しそうな患者さんに対して、サービスを調整し、他の支援者に協力を得たりして、その方が無事に退院できた時にやりがいを感じます。

大切にしていることは「自分本位の支援にしないこと」です。「当然、この支援が本人にとって必要だろう」と考え、支援を進めてしまうことがあります。先輩から「それって本当に本人が望んでいること？」と言われ、はっとすることがあります。自分の中の「当然」「当たり前」を押し付けず、患者さんの思いをしっかりと聞くことを意識するようにしています。

④ 今後の目標や夢

障がいや介護の制度についてより知識を深め、「吉田に相談しておけば大丈夫!」と言ってもらえるような人になりたいです。制度や法律が数年おきに変わるので、常に勉強をしておかないといけません。先輩や同僚と支えあいながら学びを深めていきたいと思っています。

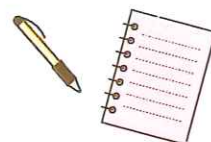


⑤ メッセージ

ソーシャルワーカーという仕事はなかなか馴染みがないと思いますが、患者さんやその家族が安心して治療に向き合うために必要不可欠な仕事です。理想的な支援ができず、壁にぶつかることもこのメッセージを読んで少しでもソーシャルワーカーという仕事に興味をもってもらえたら嬉しいです。

吉田さんの仕事のある1日の流れ

- 8:30 出勤／朝礼・病棟内カンファレンスに参加
- 9:30 電話相談対応
- 10:00 入院、退院の対応
- 11:30 書類作成、電話相談対応
- 12:30 休憩
- 13:30 面談
- 14:30 施設見学同行・院内カンファレンス
- 16:00 委員会出席
- 17:00 終礼
- 17:30 業務終了



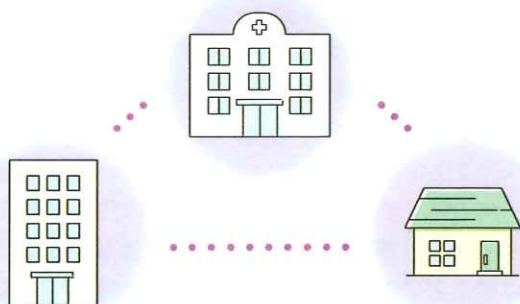
大分保護観察所
社会復帰調整官

永井 祐治 さん



① 仕事内容

社会復帰調整官は、全国の保護観察所に配置され、医療観察制度の対象となった人の社会復帰を促進するため、医療機関や地域の関係機関等と連携しながら、その人の生活状況を見守りつつ、通院や服薬が継続できるよう適切な助言や指導を行ったり、地域において必要な支援を確保するためのコーディネートを行う専門職です。



② 今の仕事を選んだきっかけ

前職は精神保健福祉士として精神科病院で勤務していました。その中で、触法精神障がい者の地域生活の援助に関わる機会があり、非常に困難な支援であると同時にやりがいを強く感じ、社会復帰調整官に応募しました。

③ やりがい、大切にしていること

この制度の対象となった方が様々な援助を受け続けることで他者を信頼することを学び、自分らしい生き方を見付け、社会復帰を果たしていく過程に寄り添っており、社会復帰調整官自身もとても大きな力をもらいます。そうした経験を通じて、私たちは他の対象者に対しても、同じように社会復帰に向けて寄り添い、支えていく前向きな気持ちを持ち続けていくことにやりがいを感じます。

また、精神保健福祉の専門職と行政官という2つの性格を有していることから、対象となった方の背景等を的確に捉えて処遇に反映させ、法に定められた業務を行うために制度を正しく理解することが欠かせない仕事だと感じています。実際の現場では、難しい局面で対応を求められることもありますが、常に学び続ける姿勢を大切にしています。

④ 今後の目標や夢

現在、医療観察法の処遇を通じて地域の関係者との連携を深め、チームとして対象となった方の支援を行っており、この取り組みが一般の障害を持つ方たちの支援に活かしてもらえることを目標にしています。いつか、この取り組みが多機関、多職種が有機的なつながりを持って地域の精神保健福祉の底上げとなることを夢見ています。

⑤ メッセージ

社会復帰調整官は、精神保健福祉士等の業務に8年以上従事した後に応募することができます。資格取得後すぐに就ける仕事ではありませんが、これまでの経験を活かすことができ、高い志や知識を有する仲間とやりがいを持って業務に臨むことができる魅力的な仕事です。これから資格を取得する方には、地域で様々な経験を積み、いつか社会復帰調整官にチャレンジしてもらいたいと思います。

永井さんの仕事のある1日の流れ

- 8:30 ● 出勤／1日のスケジュールの確認等
- 9:30 ● ケア会議開催／病院や事業所訪問
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 対象者宅への訪問等
- 15:00 ● 帰庁／記録作成・電話対応等
- 17:15 ● 退勤



杵築市社会福祉協議会

財前 勢以子 さん



① 仕事内容

杵築市社会福祉協議会で相談員をしています。権利擁護の仕事で、成年後見制度の相談などを受けています。

② 今の仕事を選んだきっかけ

福祉の仕事を選んだきっかけは、同居していた祖父です。祖父を在宅で看取りました。当時の私には何もできませんでした。そのことから、医療介護の仕事を考えていました。本格的に相談員を目指していたわけではなく、大学で資格取得を目指しながら勉強し、仕事をしながら相談員の仕事のやりがいを見つけていった形です。



③ やりがい、大切にしていること

仕事のやりがいは、相談者の方の笑顔です。相談に来る方は、何か課題があり課題を解決したくて相談に見えます。課題を一緒に解決する姿勢で支援をしています。課題を相談者とともに考え解決すると、お互いに笑顔が



こばれます。

仕事仲間に恵まれました。へこむこともありますが、仲間とともに切磋琢磨しあいながら、相談者の方の笑顔のために、仕事に取り組んでいます。

④ 今後の目標や夢

社会福祉協議会では色々な仕事があります。子育て世帯の支援、高齢者の支援、生きづらさを抱えた方の支援など様々です。住み慣れた地域で生活ができるように、地域の方と協働していければと思います。



⑤ メッセージ

人と関わる仕事です。人とつながる仕事です。つながり方は様々ですが、誰かの役に立てたと実感が持てる仕事だと思います。

財前さんの仕事のある1日の流れ

- 8:30 ● 出社・全体朝礼
- 8:40 ● 係のミーティング・
お互いの1日のスケジュール把握等
- 9:00 ● ケース会議
- 10:00 ● 訪問
- 12:15 ● 昼食
- 13:00 ● 記録の整理
- 13:30 ● 訪問
- 15:00 ● 相談
- 17:00 ● 業務終了



別府市社会福祉協議会
谷口 祐樹 さん



▲ 別府市成年後見支援センター

① 仕事内容

社会福祉協議会（略称、社協）は、地域の人びとが住み慣れた“まち”で安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざして様々な活動を行っています。私が働いている「別府市社会福祉協議会」においても“誰もが安心して共に暮らせる福祉のまちづくり”のために、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力、高齢者や障がいのある方などが抱える困りごとの相談対応等に取り組んでいます。



② 今の仕事を選んだきっかけ

中学生の頃より人の役に立つ仕事がしたいと考えていました。多種多様な福祉の仕事の中で方向性が決まったのは、高校生の時に聞いた出前授業でした。

「病院の相談員（MSW）は患者さんと地域をつなぐ架け橋」といった内容で、「ひと」と「ひと」とをつなぐ“相談に応じる仕事”に興味を持ちました。その後、福祉大学を卒業して「社会福祉士」の資格を取得し社協で仕事をしています。



③ やりがい、大切にしていること

相談された人にとって“相談してよかった”と思ってもらえることを心がけています。また、困りごとを抱えた方がこれまでより少しでも生活しやすくなるよう、環境をコーディネート（調整）できた時にやりがいを感じます。地域づくりをする時には、できるかぎり地

域へ足を運び地元の方と「顔の見える関係性」をつくっていくことを大切にしています。

④ 今後の目標や夢

私の「夢」は“誰もが安心して共に暮らせる福祉のまちづくり”の実現です。この夢は一人の想いだけでは成し得ません。想いを共有できる仲間と語り合い（想像）つくりあげていく（創造）ことの積み重ねが大切だと思っています。そのため、次の世代に櫓（たすき）をつなぎながら生涯をかけて取り組んでいきたいと考えています。

⑤ メッセージ

皆さんは「福祉」という言葉にどんなイメージをもっていますか？福祉の仕事は「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせをつくる仕事とされています。特に社協の仕事は、皆さんが住んでいるまちの“未来”を考え、“今”できることを実行していくやりがいのある仕事です。このパンフレットを読んで福祉の仕事に少しでも興味・関心が湧いたのなら、将来の選択肢のひとつとしてソーシャルワーカーの道を考えてみてはいかがでしょうか。

／ 谷口さんの仕事のある1日の流れ ／

- 8:30 ● 出勤
- 8:30 ● 支援調整・電話対応
- 10:30 ● 訪問支援
- 12:15 ● 昼休憩
- 13:00 ● 事務処理
- 14:00 ● ケース会議
- 16:00 ● 記録作成
- 17:00 ● 退勤



戸次・吉野
地域包括支援センター

佐渡 志保 さん



① 仕事内容

地域包括支援センターに勤めています。

地域包括支援センターは地域で暮らす高齢者が、いつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるように「介護」「福祉」「保健」「医療」など総合的な地域の相談窓口です。包括支援センターは社会福祉士が必置されており、その専門性を活かせる職場です。日々の業務では事務所での来所相談の他に、高齢者宅を訪問して相談を受けたり、講演会やイベントの企画、地域の公民館で介護予防教室の開催や認知症の方の支援、高齢者虐待対応の窓口など様々な仕事をしています。



② 今の仕事を選んだきっかけ

私がソーシャルワーカーの仕事を選んだのは高校生の時にお世話になった方の影響です。

高校生の時は、家族や友人のこと、将来のことなど悩み事が沢山ありました。そんな私の話を聞いてくれて、支えになってくれたのは第三者の方でした。第三者の立場だからこそ困っている人に対して支援すること、支えになることができるのだと言うことを知り、私もそのような人になりたい、困っている人を助けられる人になりたいと思い、この仕事を選びました。

③ やりがい、大切にしていること

毎日、沢山の方とお話をします。その中で「元気もらったわ」「佐渡さんのおかげで助かったわ」等のお言葉を頂けるととても嬉しいです。

また、地域づくりで地域の方と一緒にイベントや、研修会を企画して様々な方と関わることで新たな人と出会うことや、様々な考え方をすることは自分自身の成長につながり、とても大切なことだと考えています。

④ 今後の目標や夢

どんなことも安心して相談し、任せられるようなソーシャルワーカーになりたいと思っています。そのためにも、高齢者分野だけでなく、児童のこと障がい者のこと様々なことを勉強したいと思っています。

⑤ メッセージ

私も学生の頃は自分が将来何になりたいのか、どんな仕事に向いているのかわからず悩む時期もありました。ソーシャルワーカーは福祉だけでなく医療・教育など多岐にわたる仕事です。様々な相談者の生活に関わることで自分自身の成長にもつながり、様々な可能性を感じる仕事です！

是非、ソーシャルワーカーとして一緒に働きましょう！

佐渡さんの仕事のある1日の流れ

- 8:30 ● 出勤
- 8:40 ● 朝礼
- 9:00 ● 自宅訪問、担当高齢者様宅
※1人暮らしの方。昨日から体調悪いと連絡頂き、様子伺いに訪問。
- 10:00 ● 介護予防教室参加予定の高齢者宅、作業療法士と同行訪問
※日々の生活の困りごとなどを聞くことで介護予防教室に参加して、どのように元になりたいか等目標を一緒に考えます。
- 11:00 ● 事務作業（訪問記録作成）、電話相談対応
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 事務作業（利用者様計画書作成）
- 14:00 ● 会議出席
※地域連携検討会打ち合わせ
医療と介護の連携を図るための研修会企画
- 15:00 ● 電話で利用者様の様子伺い、サービス調整
- 16:00 ● 自宅訪問、担当高齢者様宅
- 17:30 ● 退社



別府リハビリテーション
センター
障害者支援施設にじ

福山 聖子 さん



① 仕事内容

私が勤務するのは障がい者支援施設です。病気や事故で身体の障がいや、記憶力・集中力といった脳機能に障がいが残った方が入所され、リハビリをされています。私はそこで相談員として、利用者やご家族の相談にのったり、スタッフとともに利用者の心理的サポートをしたり、福祉サービスの調整や関係機関と連携を図って社会参加するための支援をしています。

② 今の仕事を選んだきっかけ

学生の頃より、人の話を聞くことが好きでした。「話せてすっきりした」と笑顔でそう言ってもらえるのが嬉しかったことを思い出します。母親が福祉関係の仕事をしていたこともあり、対話を通して支援をする社会福祉士の仕事に興味を持ち、目指すようになりました。

③ やりがい、大切にしていること

私の勤務する施設では、利用者の多くが生まれながらではなく、中途障がいの方です。私が初めてごあいさつする時にはすでに障がいが残っていますが、今まで何が好きだったのか、何を大事にされてきたのか、どのような人生を歩まれてきたのかを大切にしたいと思っています。そのために、今までのことをご本人やご家族におうかがいしたり、施設での様子を見たり聞いたりしながら、よりご本人を知って支援することを心がけています。



④ 今後の目標や夢

今年で16年目になりますが、相談員だけでは支援はできないとの思いが年々強くなっています。ご本人を中心として、ご家族の力、スタッフの力、連携している関係機関の力など多くの力があってこそ支援が成り立っています。もっともっと味方を増やして、利用者の“その方らしい”生活のお手伝いができることが目標です。

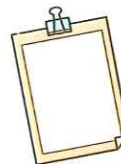
⑤ メッセージ

先日、施設を退所された方のご家族に街でお会いすることがありました。入所中の思い出話をしたのち、ご家族から「本当にいい仕事ですね」と言っていただきました。あまり意識したことがなかったのですが、その言葉に少しのときどいと大きな感謝の気持ちでいっぱいになりました。どの仕事も誰かの役にたち、社会が回っていると思いますが、相談員は利用者やご家族の嬉しい『声』を直接、聞くことができるやりがいのある仕事です。



福山さんの仕事のある1日の流れ

- 8:20 ● 朝礼
- 8:40 ● ラジオ体操・朝礼
- 8:50 ● メールチェック
- 9:00 ● ハローワーク同行（求職手続き支援）
- 11:00 ● 面談
- 12:20 ● 昼休憩
- 13:20 ● デスクワーク（個別支援計画書作成など）
- 15:00 ● サービス担当者会議の参加
- 16:15 ● 個別支援会議
- 17:00 ● 終礼（スタッフと情報共有）
- 17:20 ● 業務終了



社会福祉法人清浄園
児童養護施設清浄園

古屋 康博 さん



① 仕事内容

児童養護施設では、家庭で暮らせなくなった子どもたちの自立へのお手伝いをしています。

児童家庭支援センターでは、支援が必要なご家庭の子どもたちと保護者に関わっています。

詳しくはこちらを
ご覧ください



② 今の仕事を選んだきっかけ

もう25年前の話ですが、ただ単純に「子どもが好きで、子どもと過ごすのが楽しそうだったから」ですね。その判断は間違っていなかったですね、楽しい仕事です！

③ やりがい、大切にしていること

仕事のやりがい：子どもの成長を見られること、子どもが成人した後でも繋がりが続くこと

大切にしていること：仕事（子どもとの生活や行動）を楽しむこと

④ 今後の目標や夢

目標：関わっている子どもたちが「将来の夢」を持てるようになること

私の夢：「居場所」の子どもたちをディズニーランドに連れていくこと

⑤ メッセージ

1. 子どもの「Happy」をお手伝いする仕事です！
2. 子どもができなかったことができるようになっていく（不可能が可能になる）プロセスを伴走できます！
3. 長いスパンで子どもに関わることができて、子どもの成長を見届けられます！
4. そのうえ、「社会に貢献できる」とっても素敵なお仕事です！

児童養護施設職員の仕事の1日の流れ

- 6:50 ● 出勤。子どもたちを起こす
- 7:00 ● 子どもたちと朝食
- 7:50 ● 登校する小学生を見送る
- 8:20 ● 職員朝礼／連絡・引き継ぎ
- 8:50 ● 一時退勤
- 14:30 ● 再出勤／連絡・引き継ぎ
- 15:30 ● 小学生下校。宿題を一緒に行う
- 17:30 ● 子どもたちと夕食
- 18:30 ● 入浴、自由（子どもたちとテレビを見たりして過ごす）
- 20:30 ● 幼児就寝（添い寝・読み聞かせ）
- 21:00 ● 終業（交代で宿直もあります）



児童家庭支援センター職員の仕事の1日の流れ

- 12:30 ● 出勤。掃除/片付け
- 13:00 ● ミーティング
- 13:30 ● 夕食買い物・夕食準備
- 14:30 ● 各小学校へ迎えに行く
- 15:00 ● 居場所へ到着・宿題を教える
- 15:30 ● おやつ・外遊び
- 17:30 ● 子どもたちと夕食
- 18:00 ● 入浴、自由（子どもたちとテレビを見たりして過ごす）
- 19:30 ● ご家庭への送り
- 20:30 ● 掃除・片付け、ミーティング
- 21:00 ● 終業（交代で宿直もあります）



『ソーシャルワーカー』という仕事が気になったあなたへ

20の質問に答えて自己分析をしてみましょう!!

番号	質問	該当するものに チェック
①	人と話をするのが好きだ	
②	気配りができるほうだ	
③	問題解決のためにアイデアを出すのが得意だ	
④	粘り強くコツコツと頑張れるほうだ	
⑤	自分の考えを理論的に説明できるほうだ	
⑥	初対面の人でもうまく話せる	
⑦	イメージやアイデアを形にすることが好きだ	
⑧	人に喜ばれることをするのが好きだ	
⑨	自主性があるほうだ	
⑩	相手に合わせて柔軟な対応ができるほうだ	
⑪	自分の知識や経験を人に伝えたい	
⑫	些細なことでもいい加減にしたくない	
⑬	細かい作業が得意だ	
⑭	人々が快適に暮らせる社会づくりに携わりたい	
⑮	積極性があるほうだ	
⑯	他人の幸せを自分のことのように喜べる	
⑰	社会で起こっている様々な問題に関心がある	
⑱	困っている人がいたら放っておけない	
⑲	忍耐力があるほうだ	
⑳	他人の気持ちを汲み取る、考えることができる	



A

10個以内チェックを
つけたあなたへ

ソーシャルワーカーに興味がありそうですね。友人や家族、あなたの周りにいる人とたくさん話をして、周りの人がどのような考えを持っているか知る機会を作りましょう。

B

11個～15個チェックを
つけたあなたへ

ソーシャルワーカーへの意欲がありそうですね。友人や家族だけでなく高齢者や障害者、児童等、地域に暮らす人々が困っていることを知り、自分に何ができるか考え、行動してみましょう。

C

15個以上チェックを
つけたあなたへ

ソーシャルワーカーへの情熱が伝わってきますね。社会にあるいくつもの問題を知り、何が問題なのか、その問題に対して自分に何ができるか考え、行動してみましょう。

ソーシャルワークとはみんなが**幸せ**に
楽しく生きることができるように**社会**に向き合い、
困難な状況にある人に寄り添う仕事です。

発行

大分県社会福祉士会

〒870-0907 大分県大分市大津町 2丁目 1 番 41 号

大分県総合社会福祉会館 2F

TEL : 097-576-7071 FAX : 097-576-7071

公式HP



大分県医療ソーシャルワーカー協会

〒879-2401 大分県津久見市千怒 6011 番地

(津久見市医師会立津久見中央病院内)

TEL : 0972-82-1123 FAX : 0972-82-8411

公式HP



大分県精神保健福祉士協会

〒870-1111 大分市上判田 3433 番地

(衛藤病院内)

TEL : 097-597-0093 FAX : 097-597-6231

公式HP

